



# 第2次デジタル技術総合計画

Digital Transformation General Plan Vol.2

## ● デジタル技術総合計画の概要

執行部活動をより一層持続可能なものにするために、フィジカル（現実）空間の効率化（サステナビリティ・アセスメント）にとどまらず、サイバー（仮想）空間も最大限活用していくことを目的に定める。

## ● 第2次デジタル技術総合計画（Phase 2）

### 業務での活用

#### ◇1、執行部書類のクラウド保存

執行部が持つ報告書、企画書等の資料・書類をデータ化（クラウドアップデート）し、複数のデバイスで編集・閲覧できるようにする。

#### ◇2、執行部活動自己評価アンケートのオンライン実施

アンケート回答の分析にかかる時間の短縮を目指し、Google Form を活用して行う。

#### ◇3、生徒会執行部LINEグループの作成

全体グループ、各専門機関・代表会議等においてそれぞれLINEグループを作成し、スケジュールの連絡ならびに簡易的な話し合いを行う場として整備する。

#### ◇4、生徒会HP作成

生徒会執行部・専門委員会の活動に関する広報活動ならびに、中学生向けの紹介サイトを作成する。

## ● 進捗状況

#### ◇1、N-Drive Online Service Powered by Google Drive（クラウド保存）

N-Drive（エヌ・ドライブ）＝生徒会統合データベースシステムを2020年9月よりテスト運用、同年11月より本運用を開始した。生徒会執行部が抱える膨大な資料のうちデ

ータ化可能なものをすべてファイリングし、MacBook Pro（ホストコンピューター）、校内の iPad、Wi-Fi に繋がるすべてのパソコンで閲覧、編集が可能になった。また、一部メンバーは個人情報保護方針にのっとりた上で、スマートフォンでの閲覧、自宅パソコンからの閲覧、編集ができる体制を構築した。

#### ◇2、執行部活動自己評価アンケートのオンライン実施

生徒会執行部では、Google Form を活用してアンケートを実施した。素早い準備と回答分析時間の短縮が実現し、およそ3時間～4時間分の余裕を生み出した。

#### ◇3、生徒会執行部LINEグループの作成・活用

全体グループ、代表機関、各専門機関、そして各専門機関のリーダーなど、きめ細かにLINEグループを編成し、活動の連絡の他にも簡単なディスカッションができるようにした。これにより、活動時間の圧縮ができ、執行部活動以外のことにも放課後時間を割けるようになった。

#### ◇4、生徒会組織サイト「Travelers™ WEB」、南校地紹介サイト「ふつうかポータル」の開設

どの生徒会にも負けないウェブサイトの運営

執行部や専門委員会等の生徒会活動についてより多くの皆さまに知ってもらい、新見高校についての理解を深めてもらうことを目指す。